

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料



ものづくりのための、モノづくり。

田辺工業株式会社

2025年11月7日

証券コード | **1828**

01

会社概要 P3

02

第2四半期決算説明 P12

01

会社概要 P3

02

第2四半期決算説明 P12

コーポレートスローガン

ものづくりのための、モノづくり。

設立以来、エンジニアリングの力で産業社会と地域社会の発展への貢献を企業ビジョンに掲げ、プラントエンジニアリングを中心に国内外へ多角的に事業を展開しております。

社名	田辺工業株式会社 TANABE ENGINEERING CORPORATION
設立	1969(昭和44)年2月1日
資本金	8億8,532万円
代表者	代表取締役会長 四月朔日 義雄 (わたぬき よしお) 代表取締役社長 水澤 文雄 (みずさわ ふみお)
株式登録	東京証券取引所 スタンダード市場 (2007年3月上場 証券コード:1828)

社員数	1,059名(連結) (2025年3月末時点) 807名(単体)
本社所在地	新潟県上越市福田20番地 東京都千代田区神田駿河台2-2御茶ノ水杏雲ビル4階
海外子会社	TANABE(THAILAND)Co.,LTD. TANABE ENGINEERING SINGAPORE PTE.LTD. TANABE TECHNICAL SERVICE MALAYSIA SDN.BHD. TANABE ENGINEERING ASIA CO.,LTD.

国内外事業拠点の展開により、機動的かつ高品質なエンジニアリングサービスの拡充を目指す

海外

タイ
TANABE (THAI LAND) Co., Ltd.

設立: 1996年
事業内容: 表面処理事業、
省力化機械製造

タイ
TANABE ENGINEERING ASIA Co., Ltd.

マレーシア
TANABE TECHNICAL SERVICE MALAYSIA SDN. BHD.

設立: 2024年
事業内容: 産業用プラ
ント設備の設計・施工

シンガポール
TANABE ENGINEERING SINGAPORE PTE. LTD.

設立: 2011年
事業内容: 産業用プラ
ント設備の設計・施工

国内

本社・支店: 12カ所／営業所・出張所: 12カ所
(計24カ所)



本社・北陸支店

電力事業部

青海支店

姫路支店

メカトロ技術センター

鹿島支店

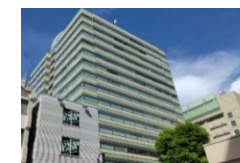
千葉支店

東京本社

名古屋支店

大阪支店

大牟田支店



東京本社



大阪支店



青海支店



千葉支店



鹿島支店



メカトロ技術センター



電力事業部



姫路支店

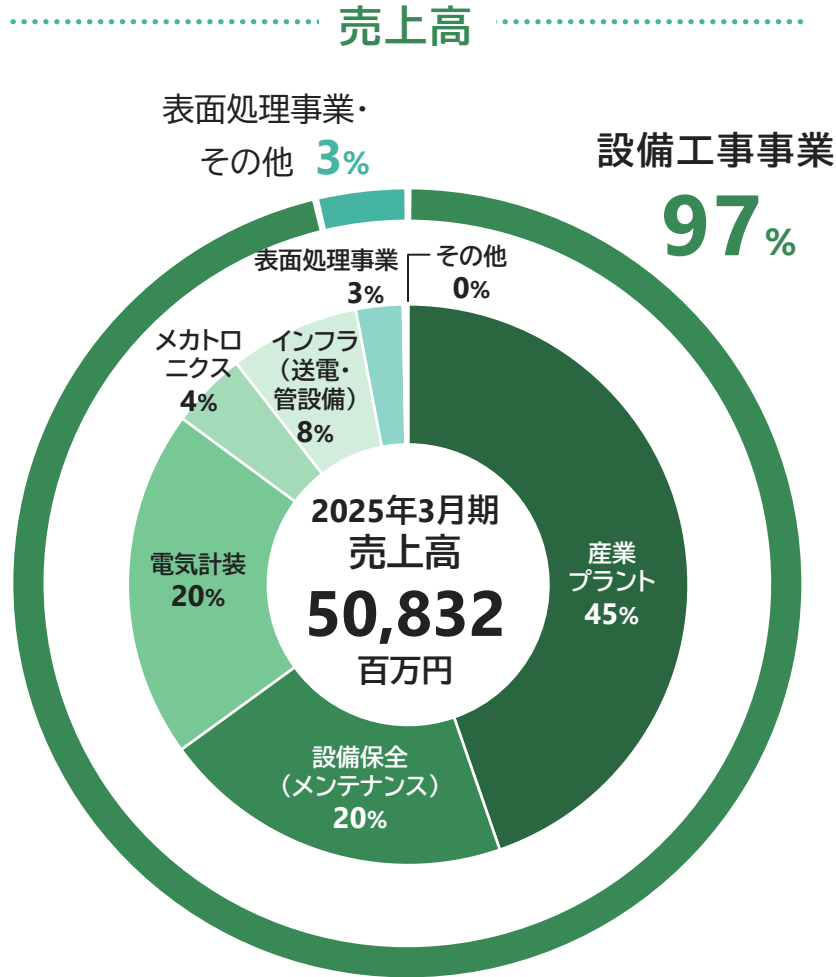


名古屋支店



大牟田支店

産業プラントを中心とした総合エンジニアリング力で、社会の発展へ貢献する



設備工事業

プラントエンジニアリング分野

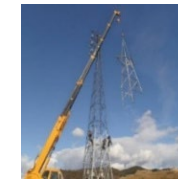
多種にわたるプラント設備の設計から施工、機器製作、メンテナンスまでトータルに対応し、社会の「ものづくり」に貢献する。



産業プラント部門

エレクトロニクス分野

- 公共インフラからプラント設備まで、あらゆる電気設備の構築を行う。
- 各電力会社とのパートナーシップによる送電設備の建設・保守や、各種発電設備の設計・施工を担う。



電気計装部門

メカトロニクス分野

各業界に向け、生産工程における最適な自動化・省力化装置を構想設計の段階からサポートし、オートメーション化ニーズに応える。



メカトロニクス部門

設備保全(メンテナンス)部門

インフラ(送電・管設備)部門

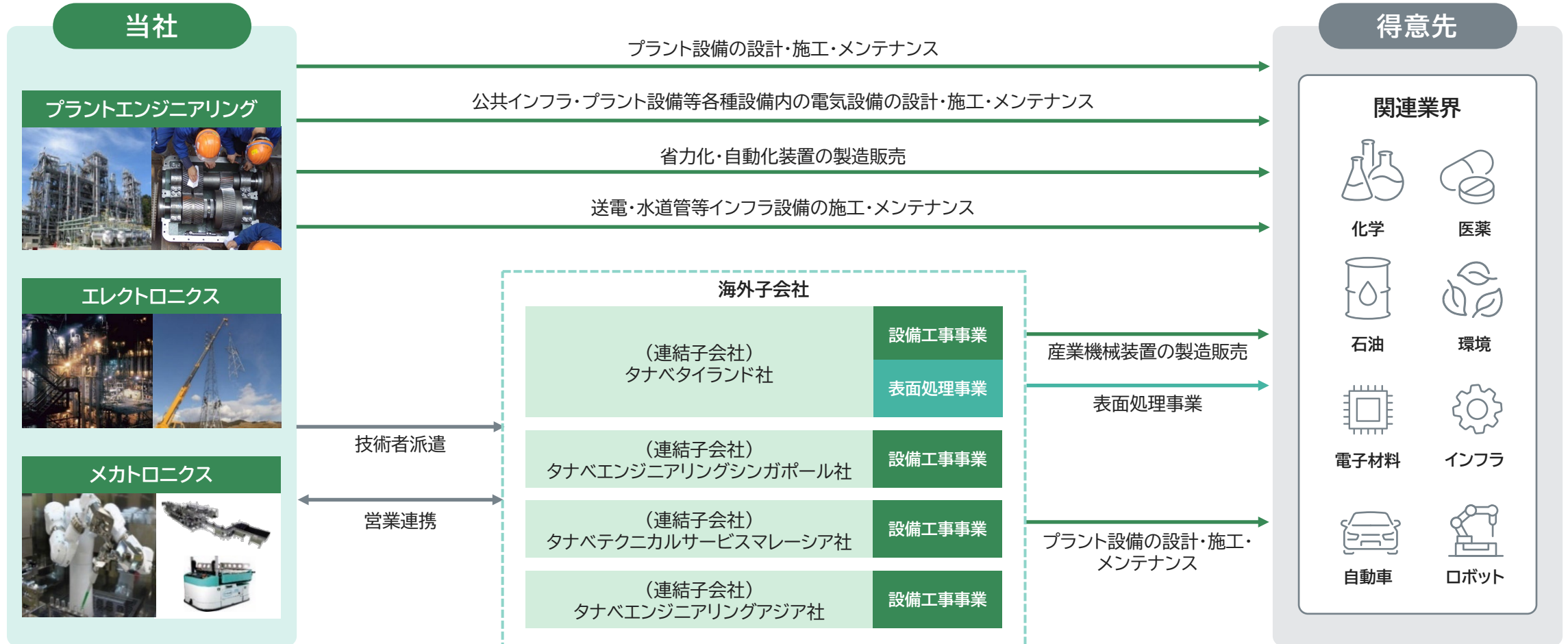
表面処理事業

自動車、HDD、電子部品、一般機械部品向けめっき加工を主とした表面処理を行う。様々な加工条件・ニーズに対応可能であり、高付加価値を提供する。

表面処理事業部門



化学・医薬・半導体・自動車等の産業向けプラントから自動化装置、および公共施設や送電鉄塔等の社会インフラまで多種多様な設備の設計・施工・メンテナンス等の事業を多角的に展開する

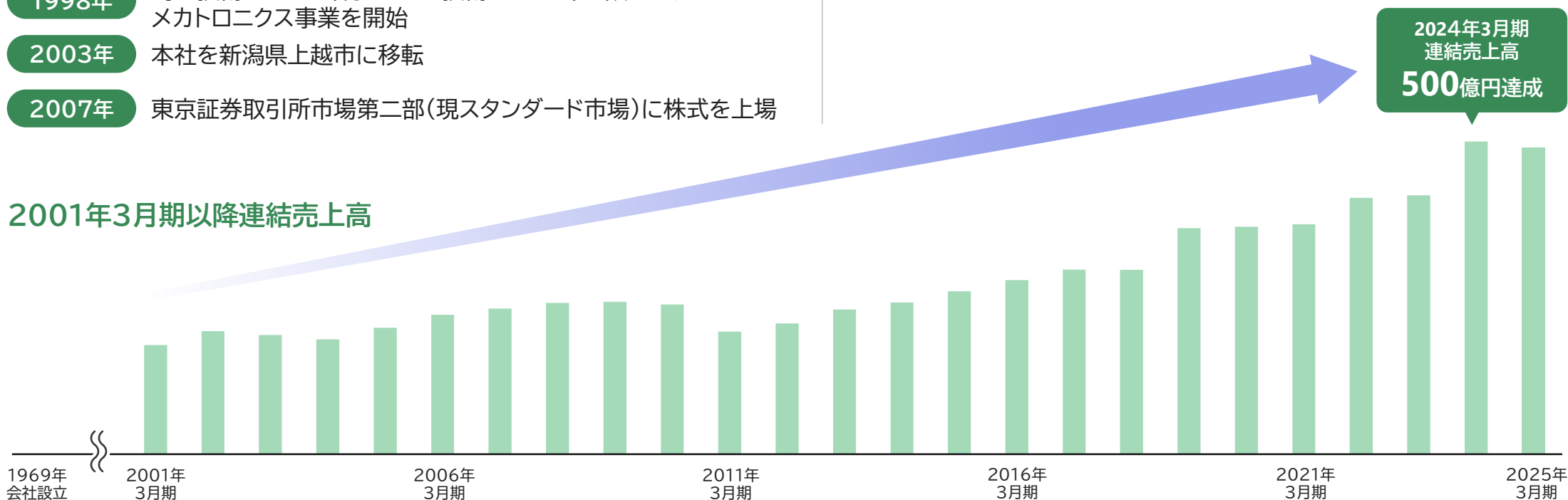


国内外にて事業・拠点を拡充し着実な成長を遂げ、2024年3月期に連結売上高500億円を達成

- 1969年** 新潟県青海町(現糸魚川市)に本社、新潟県・千葉県・東京都に営業所を設置し会社設立
- 1986年** 中京初の拠点として名古屋営業所(現名古屋支店)を設立
- 1993年** 日本証券業協会に株式を店頭登録
- 1996年** タイに初の海外子会社を設立し、表面処理事業を開始
- 1998年** 埼玉技術センター(現メカトロ技術センター)を設立し、メカトロニクス事業を開始
- 2003年** 本社を新潟県上越市に移転
- 2007年** 東京証券取引所市場第二部(現スタンダード市場)に株式を上場

- 2010年** メカトロニクス事業第二拠点として姫路技術センター(現姫路支店)を設立
- 2014年** グリーンパワーTANABE東松山太陽光発電所を設立
- 2020年** 九州初の拠点として大牟田支店を設立
- 2024年** 2024年3月期において連結売上高500億円を達成

2001年3月期以降連結売上高



経営理念

お客様・従業員・株主・業務関係者そして社会の、
みんなに喜ばれる親切で的確な仕事をしよう

**TANABE
Vision**

「エンジニアリングの力で、産業社会と地域社会の発展に貢献する」

コーポレートスローガン

ものづくりのための、モノづくり。

中期経営計画
TRY2030
(FY2025-FY2029)

事業領域における全てのフェーズでお客様に貢献する
総合エンジニアリング会社を目指す

- ステージⅠ：体制強化・変革期
- ステージⅡ：再成長期

2030年3月期連結売上高700億円の達成に向け、
ステージⅠでは体制強化・変革を実行する

ステージⅡ：28/3期-30/3期

再成長期

受注高 **800億円**

売上高 **700億円**

営業利益率 **8%以上**

ROE **12%以上**

ステージⅠ：26/3期-27/3期

体制強化・変革期

受注高 **630億円**

売上高 **550億円**

営業利益率 **7%以上**

ROE **10%以上**

前中期経営計画 TRY500： 19/3期-24/3期

成長促進期

受注高 **547億円**

売上高 **518億円**

営業利益率 **5.2%**

ROE **8.7%**

TRY2030のゴール

- 連結売上高700億円の達成
- 事業領域における全てのフェーズでお客様に貢献する総合エンジニアリング会社

事業戦略

① 国内事業の進化

- EPC事業の強化(大型EPC案件の拡大と能動営業の実施)
- メカトロニクス部門の着実な成長・拡大
- 安定的な事業継続と付加価値づけによる収益率の向上

② 海外事業の再生

- 海外事業の売上拡大・収益改善

③ 新規事業の探索

- 時流の変化や先端領域を捉えた新規事業の探索

組織戦略

④ 組織・業務改革(事業基盤の底支え)

- 現場力・営業力の強化と継承に向けた人員体制拡充(設計・調達・施工機能補強)
- 時代と事業規模に即した組織・業務推進体制への深化
- M&A・業務提携の推進

基盤戦略

⑤ ESG対応・財務基盤の強化

- カーボンニュートラルへの貢献施策の実行/各ステークホルダーとの共存共栄を意識した各種施策の推進
- 継続的な経営戦略の策定と事業部門への実効的な浸透・落とし込み
- 安定的かつ柔軟な資金調達
- 時代に即したリスク管理体制の整備・強化

01

会社概要 P3

02

第2四半期決算説明 P12

- ・米国の通商政策等に起因する不透明感から足元では一部の顧客に投資判断の慎重さも見られ、受注高は前年同期より減少となるも、売上高は堅調に推移し好調を維持
- ・過去の大型工事損失の反省からリスク管理を徹底し、営業利益および営業利益率ともに改善

(単位:百万円)	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減比	2026年3月期 通期予想
受注高	29,326	26,871	△2,455	△8.4%	58,000
売上高	25,071	24,880	△190	△0.8%	53,000
営業利益	1,878	2,078	+199	+10.0%	4,000
営業利益率	7.5%	8.4%	+0.9pt	—	7.5%

- ・主要顧客である化学業界を中心に複数の大型案件を受注
- ・工事の進捗は堅調に推移しており、好調であった前期に迫る水準を確保

(単位:百万円)

事業名	部門名	2025年3月期	2026年3月期		
		上期実績	上期実績	前年同期比	通期予想
設備工事事業		24,342	24,180	△0.7%	51,710
	産業プラント部門	11,600	10,832	△6.6%	24,255
	設備保全部門 (メンテナンス)	4,991	5,274	5.7%	9,820
	電気計装部門	4,950	4,559	△7.9%	9,225
	メカトロニクス部門	963	1,587	+64.8%	4,145
	インフラ(送電)部門	1,320	1,224	△7.3%	2,480
	インフラ(管設備)部門	516	702	35.9%	1,785
表面処理事業	表面処理事業部門	650	650	△0.0%	1,290
その他	その他	77	49	△36.2%	—
計		25,071	24,880	△0.8%	53,000

(注)1. 連結子会社タナベタイランド社は表面処理事業と、機械装置はメカトロニクスに区分して表示しております。
2. 連結子会社タナベエンジニアリングシンガポール社、タナベテクニカルサービスマレーシア社およびタナベエンジニアリングアジア社は産業プラントに含めて表示しております。
3. 事業部門「その他」に含めていた鑄造用工業炉部門につきましては、2025年12月31日付での事業廃止を決定しております。

半導体関連の設備工事等を中心とした受注があるも、米国の通商政策等に起因する不透明感から足元では一部の顧客に投資判断の慎重さも見られ、受注高・売上高とも前年同期を下回る

受注高

売上高

2025年3月期 上期

130億円

2026年3月期 上期

101億円

(単位:百万円)

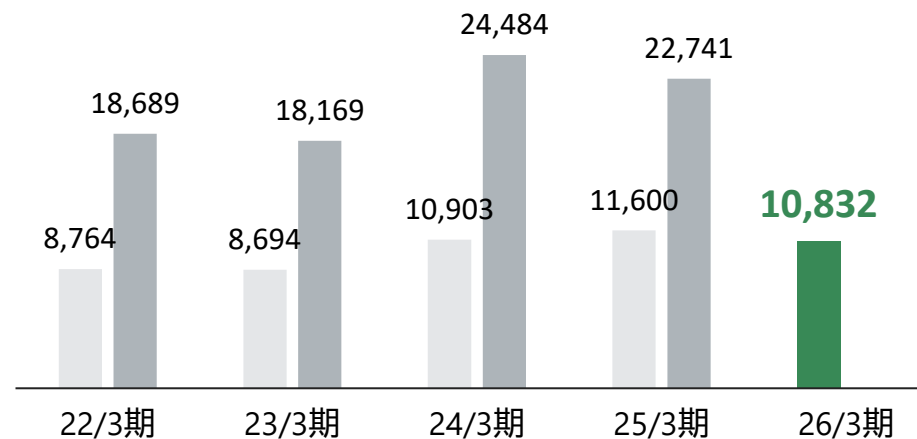
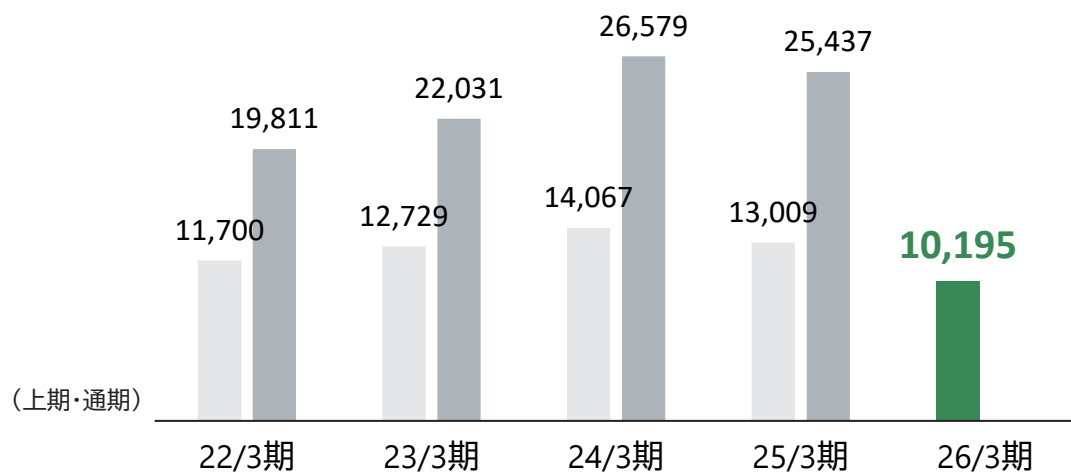
2025年3月期 上期

116億円

2026年3月期 上期

108億円

(単位:百万円)



工場設備の定期修繕工事を中心とした受注が好調であり、受注高・売上高とも前年同期を上回る

受注高

売上高

2025年3月期 上期

54億円

2026年3月期 上期

65億円

2025年3月期 上期

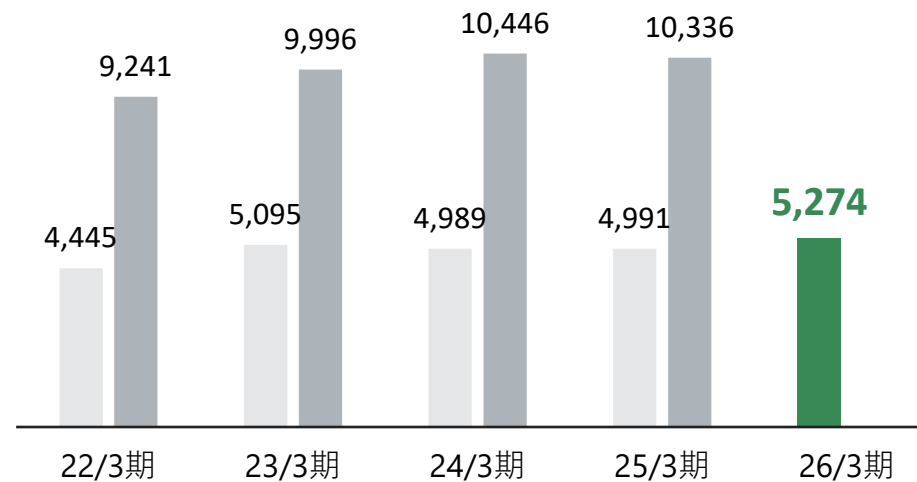
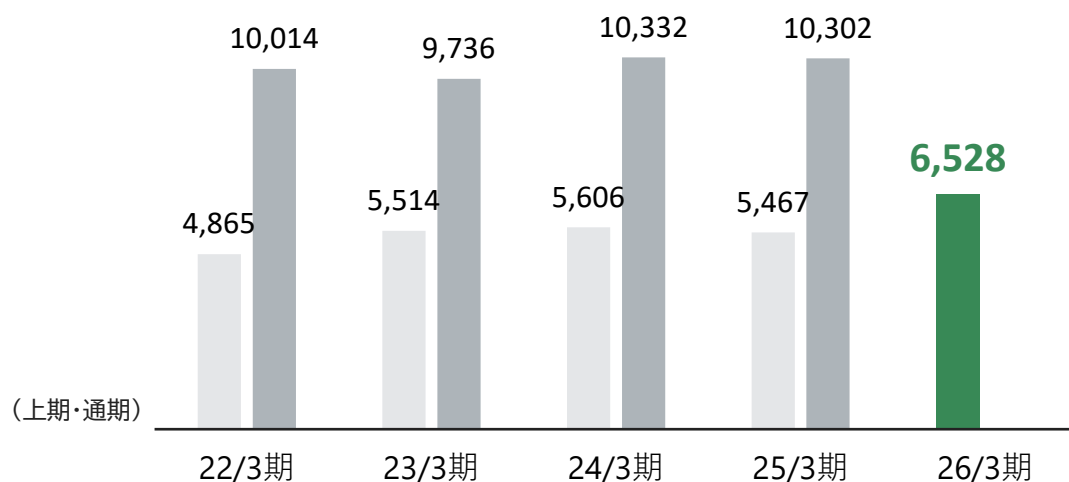
49億円

2026年3月期 上期

52億円

(単位:百万円)

(単位:百万円)



産業プラント部門とのジョイントによる、半導体関連の設備工事、設備増強工事を中心とした受注があり、受注高は前年同期を上回るも、売上高は下期以降に進捗予定の案件が多く前年同期を下回る

受注高

売上高

2025年3月期 上期

52億円

2026年3月期 上期

57億円

(単位:百万円)

2025年3月期 上期

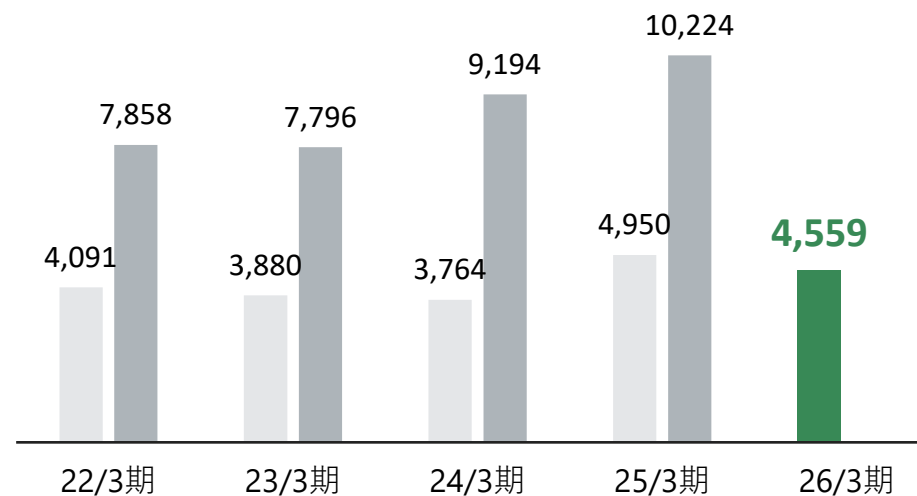
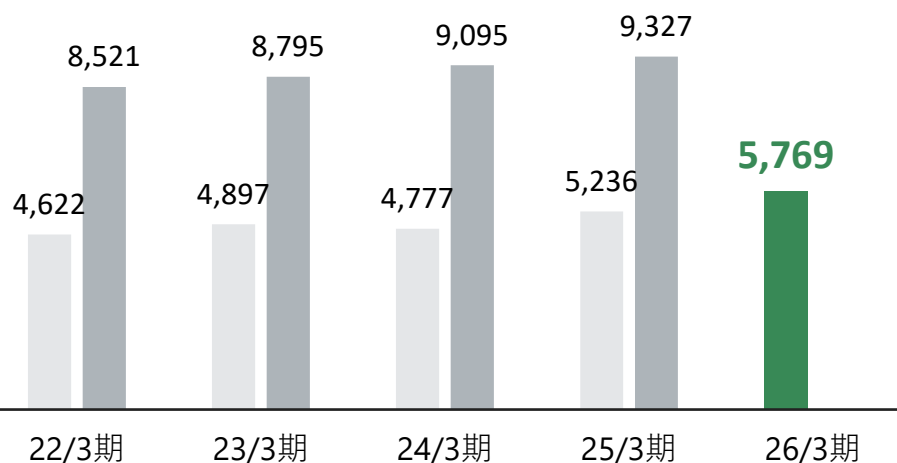
49億円

2026年3月期 上期

45億円

(単位:百万円)

(上期・通期)



充填ライン、各種自動化機器の受注などがあるも、受注高は前年同期を下回り、売上高は工事の進捗が順調に進んだこともあり前年同期を上回る

受注高

売上高

2025年3月期 上期

23億円

2026年3月期 上期

14億円

(単位:百万円)

2025年3月期 上期

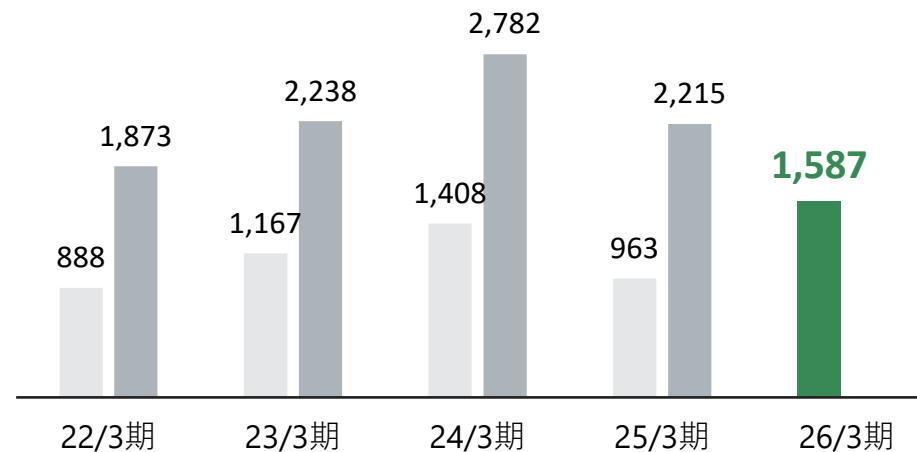
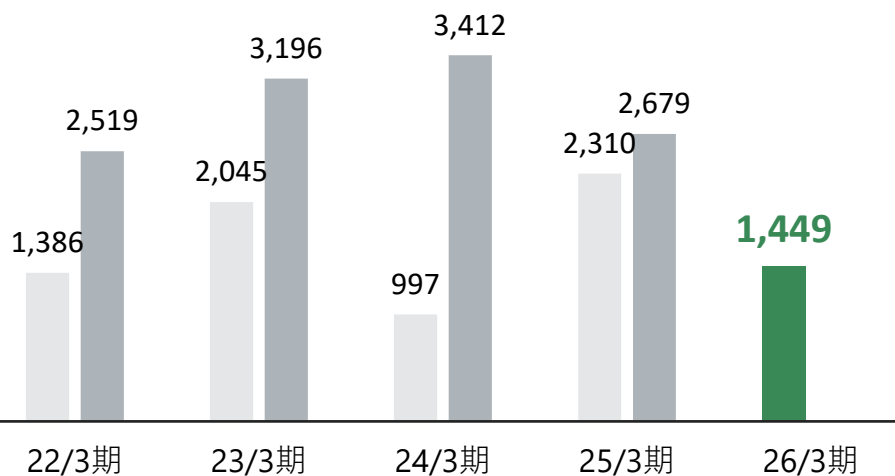
9億円

2026年3月期 上期

15億円

(単位:百万円)

(上期・通期)



電力会社の設備保守等の受注があるも、受注高・売上高ともに前年同期を下回る

受注高

売上高

2025年3月期 上期

17億円

2026年3月期 上期

15億円

(単位:百万円)

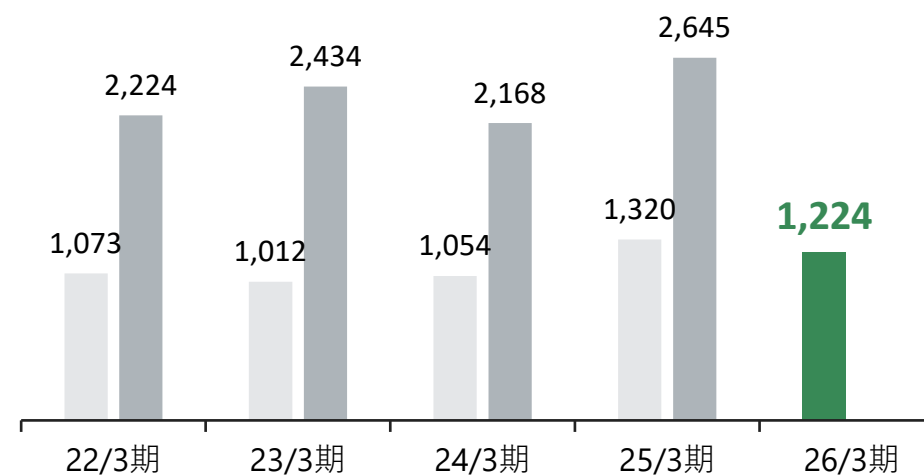
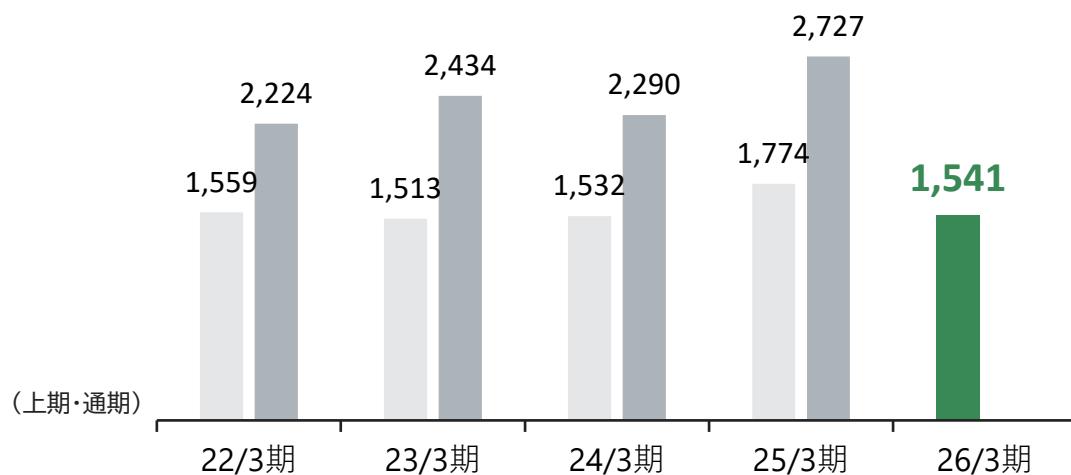
2025年3月期 上期

13億円

2026年3月期 上期

12億円

(単位:百万円)



インフラ設備の維持更新等を中心とした受注があるも、受注高は前年同期を下回り、売上高は工事の進捗が順調に進み前期を上回る

受注高

売上高

2025年3月期 上期

8億円

2026年3月期 上期

6億円

2025年3月期 上期

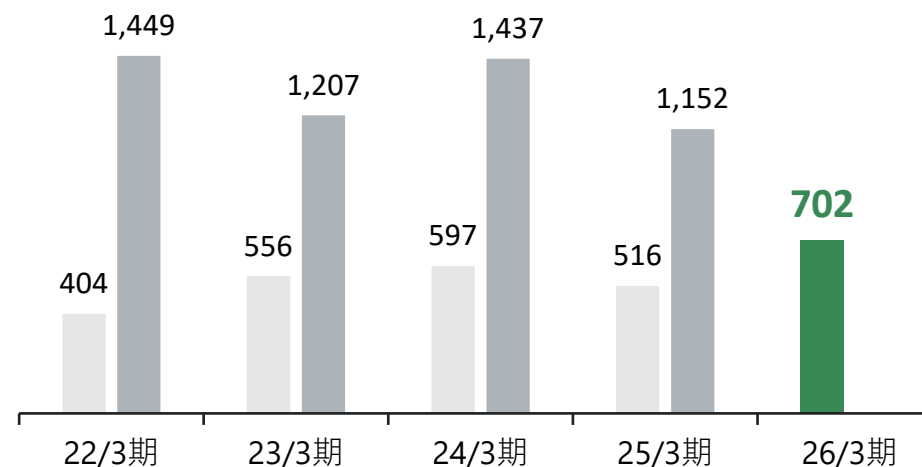
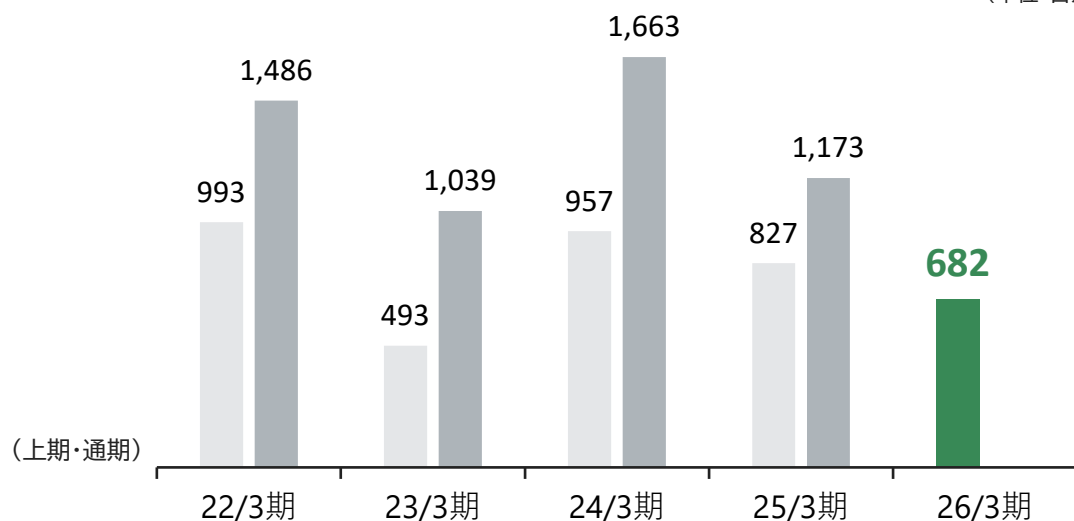
5億円

2026年3月期 上期

7億円

(単位:百万円)

(単位:百万円)



自動車部品・HDD向け表面処理は横ばいの状況であり、EV向け部品は堅調であるも、受注高および売上高ともに前年同期を若干下回る

受注高

売上高

2025年3月期 上期

6億円

2026年3月期 上期

6億円

(単位:百万円)

2025年3月期

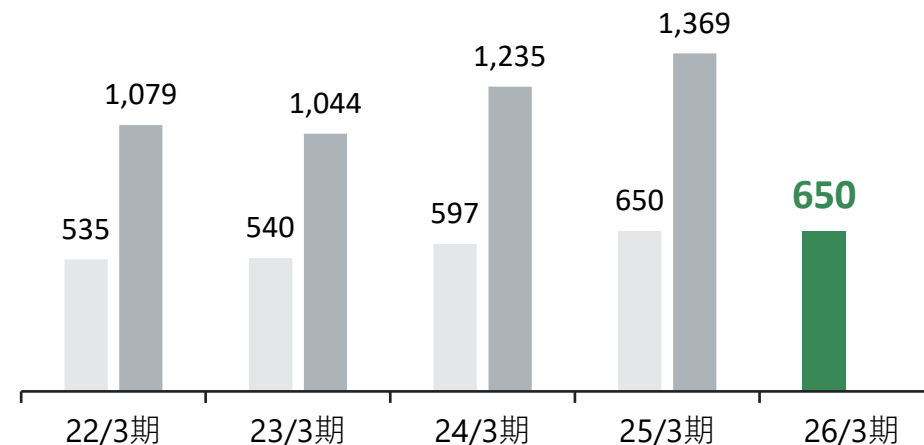
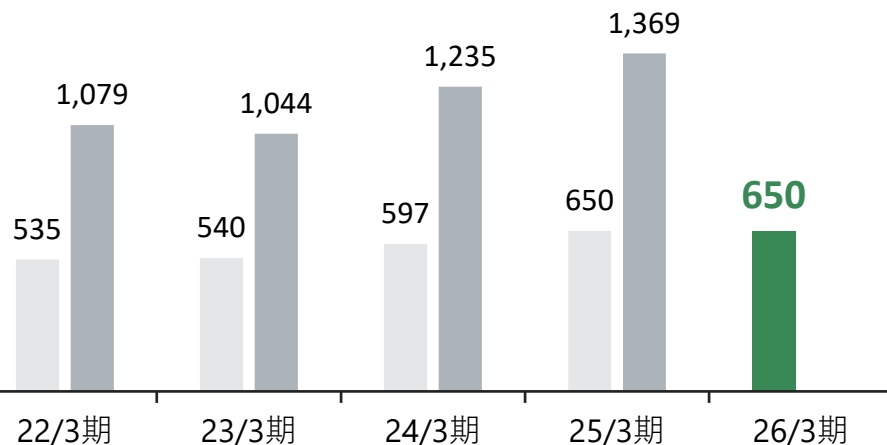
6億円

2026年3月期 上期

6億円

(単位:百万円)

(上期・通期)

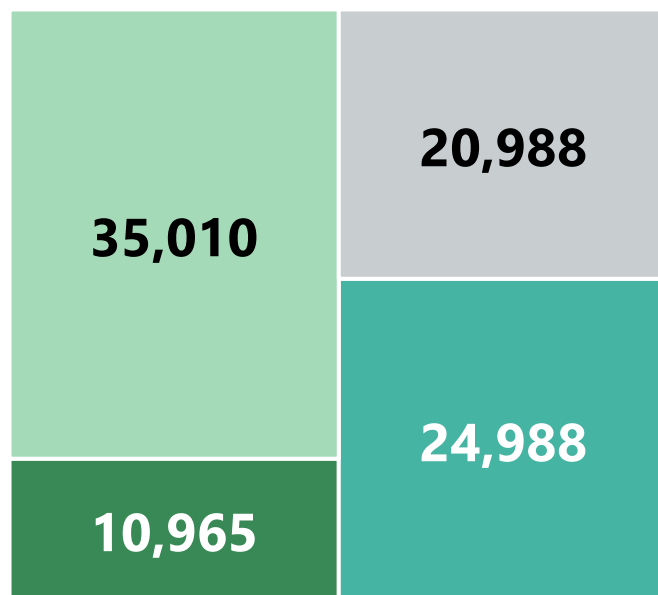


- 流動資産：「現金預金」の減少、「受取手形・完成工事未収入金等」の増加
- 固定資産：「建物・構築物」・「投資有価証券」の増加
- 負債：「未払金」・「賞与引当金」の減少

(単位:百万円)

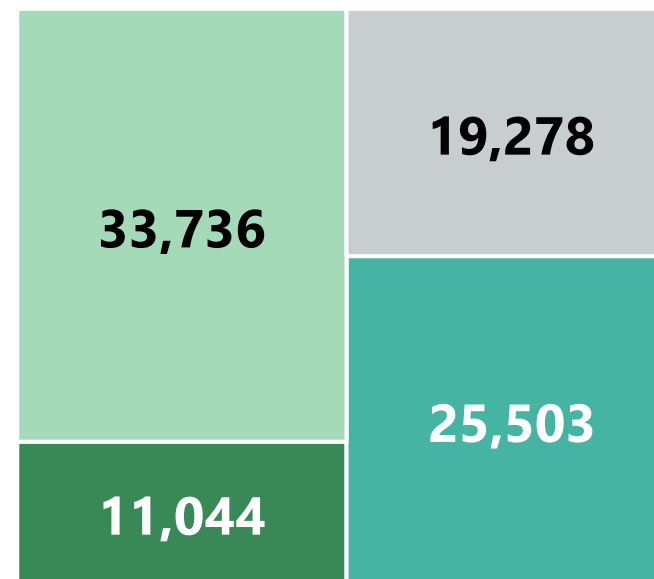
■ 流動資産
■ 固定資産
■ 負債
■ 純資産

総資産 **45,976**



2025年3月期末
(2025年3月31日)

総資産 **44,781**

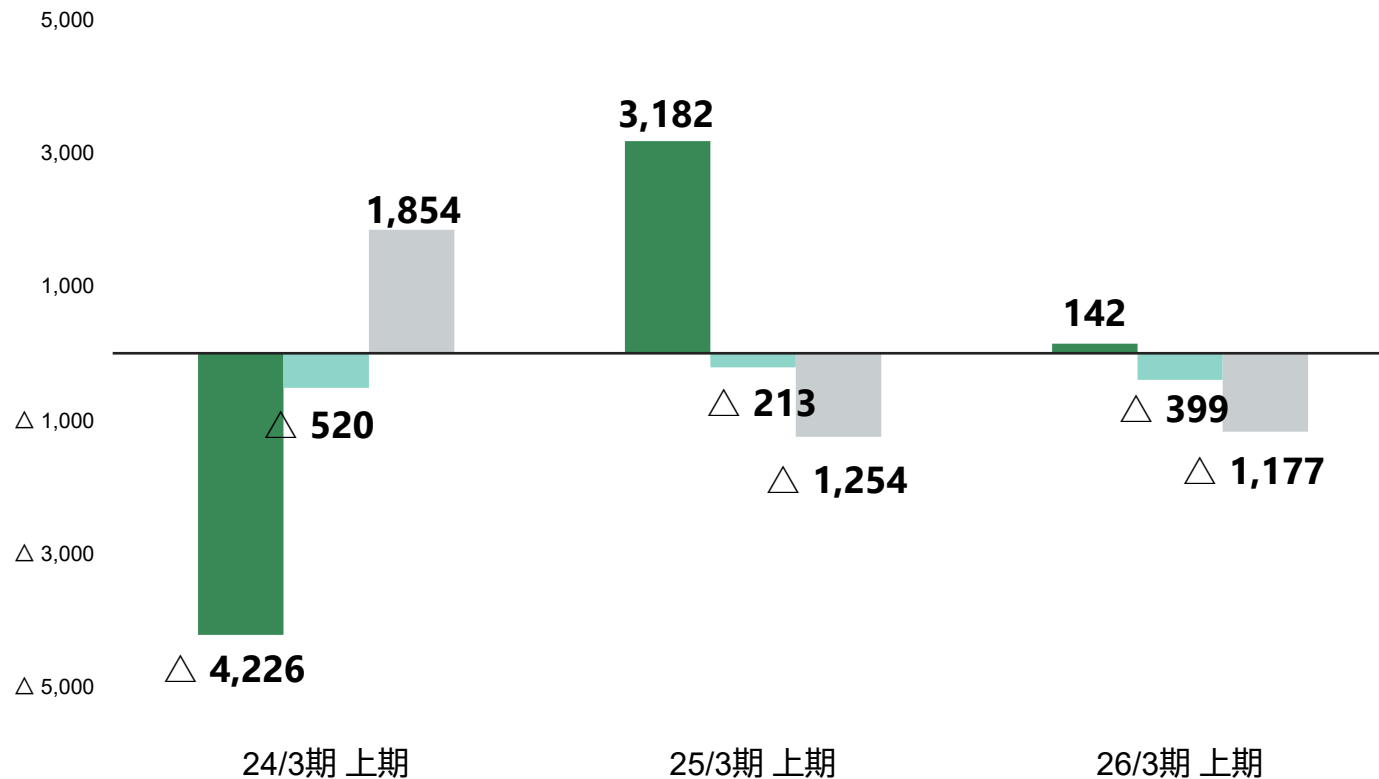


2026年3月期第2四半期
(2025年9月30日)

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末より1,464百万円減少し、9,385百万円にて着地

■ 営業キャッシュ・フロー ■ 投資キャッシュ・フロー ■ 財務キャッシュ・フロー

(単位:百万円)



2025年3月期末との比較

営業キャッシュ・フロー **+1億円**

税金等調整前中間純利益 +21億円

投資キャッシュ・フロー **△3億円**

有形固定資産の取得による支出 △2億円

財務キャッシュ・フロー **△11億円**

配当金の支払額 △9億円

現金及び現金同等物の増減額 **△14億円**

	24/3期上期	25/3期上期	26/3期上期
設備投資	5.8億円	2.6億円	2.9億円

(設備投資＝有形固定資産の取得による支出)

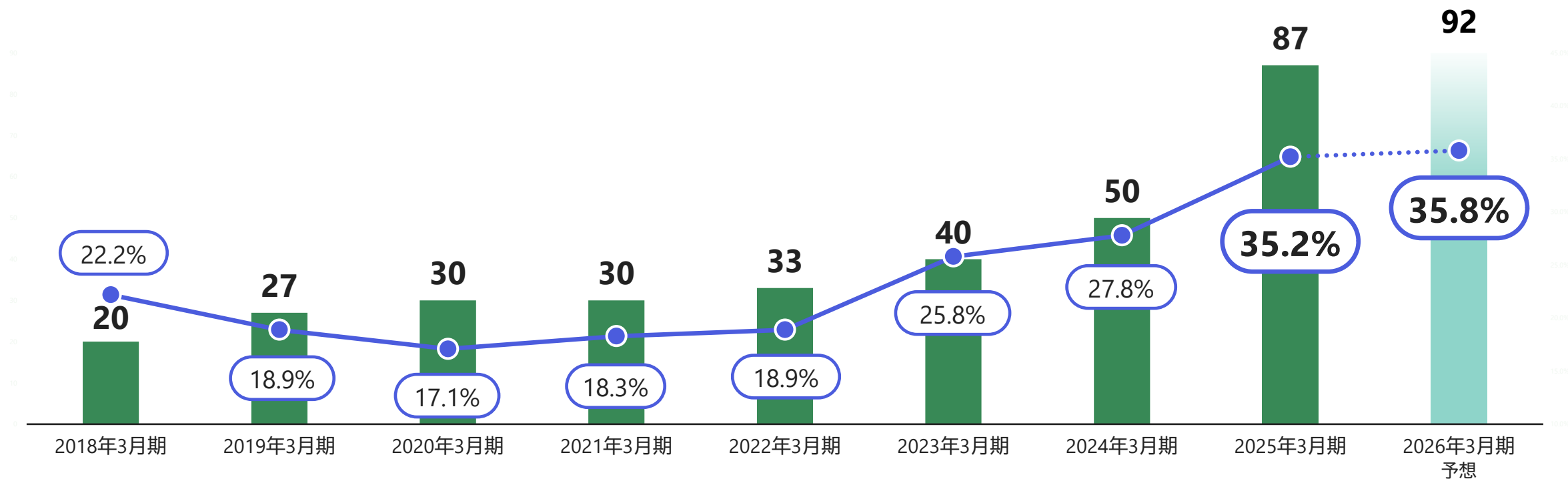
配当方針

連結配当性向35～40%を目安に、安定的な配当および持続的な増配を目指し配当実施

配当実績・予定

- 2025年3月期は1株当たり配当金87円、配当性向35.2%の実績
- 2026年3月期は1株当たり配当金92円、配当性向35.8%と予想

■ 配当金(円) ● 配当性向



本資料の利用に関する注意事項

- 本資料に含まれる業績見通し等の将来に関する記述は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
- 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

田辺工業株式会社

TEL:025-545-6500

Mail:webother@tanabe-ind.co.jp



田辺工業株式会社